

2014年5月23日（金）

九州ツアー 一日目

雲仙温泉・矢岳ハイク

by 高橋（文）（写真提供は参加者全員）

今回の九州ツアーは普賢岳のミヤマキリシマをメインに、2012年に行った平治岳、阿蘇から2年振りの企画となりました。今回参加者は、熊本さん、伊能さん、吉松さん、高橋雄さん、能勢さんご夫妻、布目さん、小山さん、岡部さん、根岸さん、高橋文と、地元九州から参加の猿渡さんの計12名。

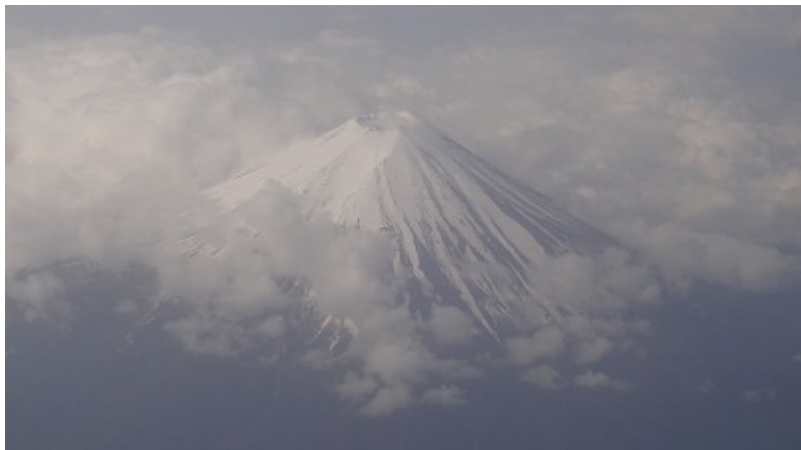
天気の予報もよく楽しい旅が見込まれます。



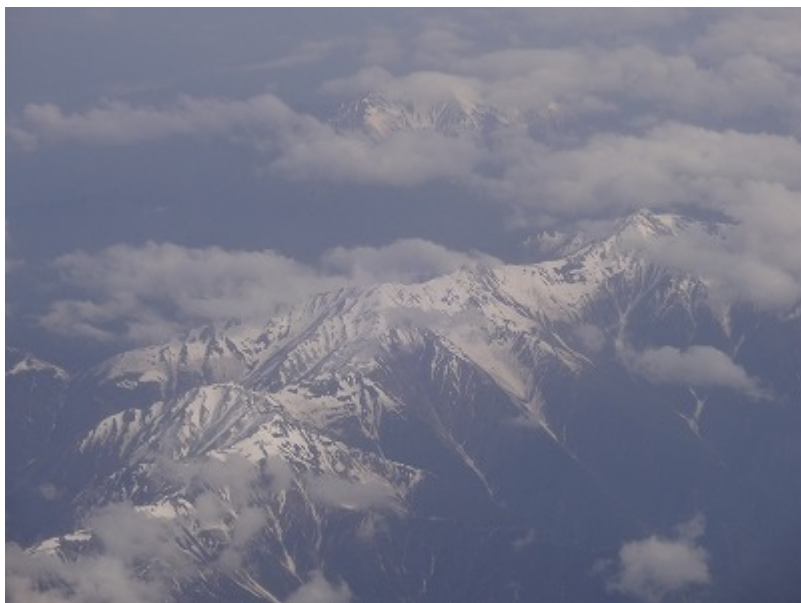
集合時間は7時だったが、搭乗券の発券は羽田のJALカウンターで6時40分からで、全員時間前に集合した。



カメラ用のスマイルもなかなか様になっている。



機内から見た富士山



白根三山
右から北岳、間ノ岳、農鳥岳



ほぼ定刻に長崎空港に着陸し、トヨタレンタカーに向かい橋を渡る。



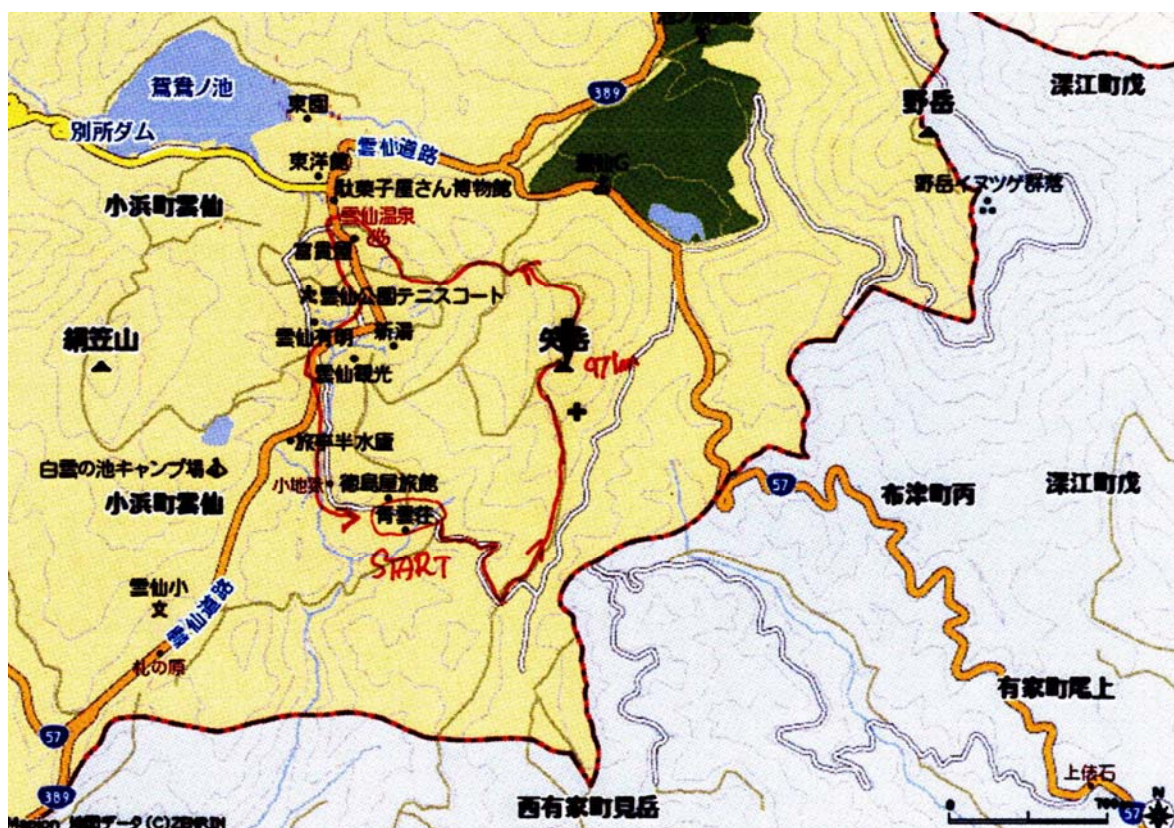
長崎空港から諫早市を通り、57号線に入り、コンビニに立ち寄り、本日の酒とつまみを仕入れる。



本日泊まりの国民宿舎「青雲荘」で猿渡さんと合流。
まずはチャンポン、皿うどんなどで腹ごしらえ。



青雲荘の玄関で集合写真。これから足慣らしの矢岳散策に出かける。



これから登る「矢岳（971m）」のハイキングコース。青雲荘から歩いて約2時間の周回コース。



出発前に、岡部さんの指導で入念に準備運動を行う。



適度な距離だね。



猿渡さんから、ここはマムシが出るとの話聞き、登山靴を履き通常の登山の装備で出かける。
小鳥は種類も多く、また大きな声で鳴いていた。





山頂手前の 940m 地点にあった一等三角点。



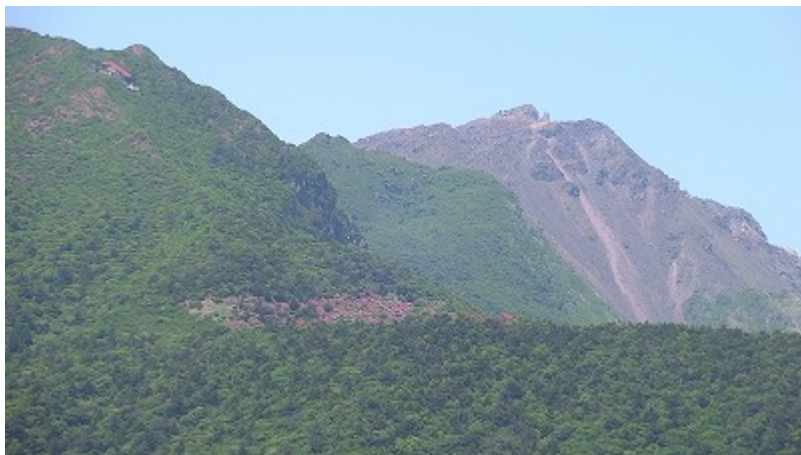
矢岳山頂で集合写真。後方に褐色に見える山は平成新山。



快適な足慣らしで、これなら余裕！余裕！



あれが池ノ原園地と説明する猿渡さん。
名調子は女性の心を捉えた。



平成新山は褐色に見えるが、緑の草木も
ちらほら見えている。



矢岳を下山し、雲仙地獄めぐりに。
いたるところで見られる噴気の最高温度
は120度とのこと。
あたりには強い硫黄臭が漂っている。



行ったことはないけど、地獄こんな感じのところ？



そろそろ疲れてきたかな。



今日、我々が宿泊する、雲仙・小地獄温泉「国民宿舎 青雲荘」へ戻る。



青雲荘の露天風呂と内湯、乳白色の硫黄泉。



猿渡さんが焼酎など4本持参してくれた。
女性のために、と持参してくれた日本酒はあっという間に空になった。
夕飯はもう一度ビールで乾杯。
食事もなかなか美味しかった。

夕食後、部屋に戻り酒を飲みながら、経験豊かな猿渡さんを中心に、明日の普賢岳ハイクの戦略会議。

当初計画は、朝食のバイキングを食べて 7:30 に宿を出発であった。

しかし、ミヤマキリシマが見頃を迎えたこと、明日は土曜日で更に天候も良いので、相当混雑すると思われ、出来るだけ早く出立したいと、朝食は弁当にしてもらい 6 時出発に変更する案で全員の意見が一致したところで、温泉に入り、明日の普賢岳ハイクを夢に見ながら就寝。